

「夢」をもち、「夢」に向かって努力する生徒

原北中学校 学校通信



令和2年 5月28日 第3号
福岡市早良区小田部7-11-1
電話 092-851-3344
発行者 校長 福崎 浩信



全面再開が始まります・・・

福岡県においては、4月7日に出された緊急事態宣言が5月14日に解除され、本市において21日から学年別分散登校（入学式・始業式）、2巡目の25日からは給食も始まりました。そして、28日から29日までの学級分散登校を終え、いよいよ6月1日から全面再開になります。

休校中、分散登校中は、メールやホームページを通して外出自粛や家庭学習の充実など、様々な願いをしてきました。その都度、内容を的確に把握していただき最高の状態で行動に移していただいたおかげで、この間、遺漏無く教育活動を展開することが出来ました。心より感謝申し上げます。

また、最前線で奮闘いただいている医療従事者の皆様をはじめ、様々な現場で社会を支えていただいている皆様に、改めて敬意を表し、感謝申し上げます。

宣言は解除されましたが、これで終わりではありません。新型コロナウイルス感染症と向き合い、学校教育活動のレベルをあげながら、元の生活に戻っていくための新しいスタートと捉えています。

全面再開にあたって、今後の活動予定、留意点、連絡事項等をお伝えします。
詳細は、各学年・学級・担当から、順次、連絡・お知らせをしていきます。

1 全面再開について

- ・6月1日（月）から5日（金）までは、5コマ授業、給食後、14時に下校します。
- ・6月8日（月）以降は、5コマ授業、給食、2コマ授業後、16時15分に下校します。
- ・教室内の対人間隔を1m程度に保ちながら授業を行います。
- ・土曜授業は、6月20日より隔週で実施します。給食はありません。
- ・夏季休業日の期間短縮は予定通りです。8月7日（金）から8月19日（水）まで
※期間中の授業時間、給食などについては後日お知らせします。
- ・学校再開についての基本的な考え方や、Q&Aについては、学年分散登校時に配付しています。また、HPにも掲載しています。

2 授業について

- ・1コマ40分の授業を行います。週あたりの授業は最大38コマ（土曜日4コマを含む）です。ただし、会議や行事などで異なる場合があります。土曜日は給食はありません。
- ・今後、様々な状況をもとに判断して、従来の時制に戻る通知が、教育委員会からなされることもあります。

3 給食について

- ・6月1日より米飯給食が再開されます。
- ・座席は対面にしないなどの指導を徹底していきます。

4 部活動について

- ・6月8日より、段階的に再開します。
- ・福岡市中学校総合体育大会の総合開会式、夏季開催18競技は中止です。
福岡市中学校総合文化発表会の開会式及び、音楽会、放送コンテスト、美術部作品展は中止です。その他の事業実施の可否については各部から連絡が入り次第、お知らせします。

5 緊急メールの登録について

- ・近日中に、現学年での再登録を行います。

受験生に伝えたいこと・・・

1つ目は、人間が平等に与えられているもの「1日24時間」です。

その時間を有効に使うか否かは皆さん一人ひとりにかかっています。その際、大切なのが、スケジュールリングとプランニングです。

スケジュールリングとは、いくつかの、やらなければならない仕事があるときに、どういう順番で仕事を進めればもっとも速いか、あるいは都合が良いか、さらには、最適な仕事をすることができるかを考えていつ何をするのか決めることです。

プランニングとは、計画や企画を立案することです。

計画通り、企画通り進めるために今何をしなければならないか、それが一番効率的なのか考えながら学習を進めていくことです。スケジュールは、周りが管理してくれることがありますが、プランは自分自身が管理するしかありません。

日頃していないこと、できないことは、特に、本番・大事な時にできません。

結果は、毎日の生活の中にあると思っています。

2つ目は、上級学校で通用する力です。高等学校がゴールではありません。

繰り返しになりますが、上級学校に入る力ではなく、上級学校に入って通用する力です。基礎基本の確実な習得、自ら進んで主体的に学ぶためのスキル、また、人生を広く深く豊かにする「励まし支え合う友達作り」、「最後までやり抜く精神力・体力」を身につけて欲しいと思います。

そして、その中から、自分に合った進路を切り開いてくれることを願っています。

直ぐにでも回復可能なことでも、先送りすれば回復するのに時間がかかったり困難になったりすることが多々あるものです。

「今日の一針、明日の十針」を心に留め、日々充実した生活を送ることを願っています。

道は開ける(成せばなる) 「三人一組の科学者たち」

アインシュタインに影響を受けた、湯川秀樹と朝永振一郎は、ノーベル物理学賞を受賞した日本の物理学者です。また、朝永振一郎とともにノーベル賞を受賞した、リチャード・P・ファインマンを加えた三人は、平和を愛して活動した科学者でもありました。

湯川は、中学生の時、アインシュタインが来日したことをきっかけに、物理学に興味を持ち始めました。1926年には京都帝国大学（現在の京都大学）に入学し、物理学を学びました。原子、原子核の研究をすすめて、1934年、中間子という粒子が陽子と中性子を結びつけていると考え、「中間子理論」として発表しました。この功績が認められ、1949年に日本人として初めてノーベル物理学賞を受賞しました。このニュースは、敗戦からわずか4年の暗く沈んだ日本人の心に明るい希望をもたらしました。

朝永も京都帝国大学で物理学を学び、同級生には湯川秀樹がいました。1930年代、電子と電子がつくる電磁場の相互作用を計算すると、電子の質量が無限大とされていましたが、実験による測定では無限大にならないという矛盾がありました。そこで場の反作用と真空の分極などの効果（相対性理論）を電子の質量や電荷（量子力学）を取り入れることで問題を解決しました。1947年に「くみこみ理論」を発表し、量子力学が抱えていた矛盾を解決しました。この功績が1965年にノーベル物理学賞を受賞しました。

ファインマンはアメリカの物理学者です。戦後、大学教授となり量子電磁力学の研究に専念しました。講義は、簡単な言葉によるわかりやすい説明だったため、学生たちの間で評判でした。量子電磁力学の「くみこみ理論」を完成し、1965年、朝永振一郎らとともに、ノーベル物理学賞を受賞しました。

ファインマンは、「ファインマン・テクニク」とよばれる独自の学習法を、4段階に分けて提唱しました。

- ①学習したいことがなんなのか設定し、ノートに書く。
- ②続いて、学習したいことについて、誰かに教えるときのように自分が知っていることをノートに書く。
- ③自分が知っている範囲が分かったら、教科書で再学習し、改めて知ったことをノートに書く。
- ④最後に読み返して、複雑で理解しづらい説明が残っていないかを確認する。もし、残っていたら、それは「自分がまだ理解していない」と言うことなので、さらに学習・理解を深め、わかりやすい用語でノートにまとめる。